

祝・日本被団協 ノーベル平和賞受賞！

広島・長崎に原爆が落とされてから80年！

核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて！



「原爆孤児」広島 雪を食べる子どもたち 撮影：佐々木雄一郎

＊と き 2025 年

8月5日(火)～10日(日)

午前9時30分～午後5時 (10日は午後4時まで)

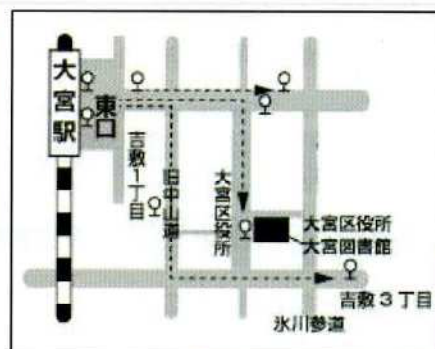
＊ところ **大宮図書館** 展示スペース・研修室
(大宮駅東口から徒歩15分、バス停「大宮区役所」下車すぐ)

●展示・イベントの内容・出演者は予告なく変更になる場合がございます。

29回

原爆と人間展

書・森谷 明仙



入場無料

＊展示スペース 9時半～午後5時
最終日は～午後4時

- 被爆80年被団協(日本原水爆被害者団体協議会)のあゆみ
- 第3回核兵器禁止条約締約国会議の政治宣言
- ノーベル平和賞の受賞式、日本被団協代表委員 田中照巳さんの演説全文
- 広島の高校生が描いた「原爆の絵」
- 戦時中の物品
- 原爆と人間パネル
- 大宮の核施設撤去の市民運動の歴史

＊研 修 室 A・B

入場は開演30分前から
定員48人

5日(火)

① 9時半開場 10時開始

② 13時半開場 14時開始

紙芝居・絵本

6日(水)

① 9時半開場 10時上映

アニメ「はだしのゲン」(84分)

② 13時開場 13時半開始

被爆体験を語る

三松 保則さん

広島で6歳のとき被爆

③ 15時半開場 16時上映

アニメ「つるにのって」

(27分)

8日(金)

14時半開場 15時上演 ロコ企画・語り

～愛と平和を語り継ぐところにふれるお話～

主催・問い合わせ：「原爆と人間展」実行委員会 Tel 048-653-5059(佐藤)

090-1701-5079(齊藤)

後援：さいたま市、さいたま市教育委員会、埼玉県原爆被害者協議会

* ご挨拶 *

1997年から開催してきた「原爆と人間展」も、今年で29回目を迎えます。

これも後援をいただいているさいたま市・さいたま市教育委員会および埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)をはじめ、「原爆と人間展」を長い間支えていただいた多くの市民のみなさまのおかげと感謝しております。

今年、2025年は、広島・長崎に原爆が落とされてから80年という歴史的な節目を迎えます。

このような中、2024年のノーベル平和賞を日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が受賞したことを歓迎したいと思います。被爆者の方々が長年にわたり、自らの体と心に負った傷と絶えず向き合い、命を削る思いで被爆体験を語ってきたことが、核兵器使用は許されないと「核のタブー」をつくり、約80年の間戦争で1発の核兵器も使わせませんでした。

被爆80年の今年、核兵器が使用されかねない国際情勢のも

とで、日本被団協の活動がさらに期待されています。

「核兵器のない世界」を求めて2021年1月22日に発効された核兵器禁止条約は、5月29日現在、署名94ヶ国、批准73ヶ国になり、今年3月に開催された第3回核兵器禁止条約締約国会議では、政治宣言が採択されました。唯一の戦争被爆国である日本が、世界から核兵器をなくす先頭に立ち、核兵器禁止条約を批准するよう願うものです。

私たち「原爆と人間展」は、核戦争反対、核兵器をなくそうと願い、未来を担う子どもたちに伝えようと始めました。被爆80年の今年、日本被団協のみなさんとともに、核兵器も戦争もない平和な世界にむけ、歩みを強めたいと思います。

今年もこの「原爆と人間展」にご来場いただき、市民のみなさんと一緒に核兵器の恐ろしさと命の尊さを学びたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

「原爆と人間展」実行委員会

展示スペース

●被爆80年被団協(日本原水爆被害者団体協議会)のあゆみ

1945年8月6日広島、8月9日長崎に原爆が投下、1956年8月10日日本被団協が結成されてからノーベル平和賞受賞までのあゆみを年表で紹介。「かくて私たちは自らを救うとともに、私たちの体験をとおして人類の危機を救おうという決意を誓いあったのであります。～中略～ 人類は私たちの犠牲と苦難をまたふたび繰り返してはなりません。」

日本被団協結成大会宣言「世界への挨拶」より抜粋

●ノーベル平和賞の受賞式

日本被団協代表委員 田中熙巳さんの演説全文

●第3回核兵器禁止条約締約国会議の政治宣言

●広島の高校生が描いた「原爆の絵」

●戦時中の物品

●原爆と人間パネル

●大宮の核施設撤去の市民運動の歴史

イベント(研修室) 定員48名 (入場は30分前から)

席に限りがありますのでギリギリの時間では入れないこともあります。

8/5(火)

● 9時半開場 10時上演 紙芝居・絵本

● 13時半開場 14時上演 紙芝居・絵本

●「平和のちかい」～「原爆の子」より ●「平和こそ宝」～埼玉県の被爆者のお話～

●「げんばくとげんばつ」 ●「ここが家だ ベン・シャーン」の第五福竜丸

●「ビキニの海のねがい」 ●「二度と」～写真とイラストで語る～ ほか

(両時間ともこれらの中から何作品か読む予定です)

8/6(水)

● 9時半開場 10時上映 アニメ「はだしのゲン」(1983)



原作・脚本・製作者:中沢啓治 監督:真崎守(84分)
太平洋戦争中の広島。戦争反対を叫びつづけるゲンの父親は軍部から弾圧を受け、そのためゲンの一家も非国民呼ばわりされるが、みんなで力をあわせ、明るく楽しい家庭をつくっていた。そんな家庭も8月6日の原爆投下によって一瞬に破壊されてしまう。

8/6(水)

● 15時半開場 16時上映 アニメ「つるにのって とも子の冒険」

脚本・監督:有原 誠治(27分)

小学6年生のとも子は夏休みの課題のため、広島原爆資料館をひとりで訪れ、原爆の恐ろしさに圧倒されます。通りかかった平和公園で、少女の像に目を奪われます。折り鶴にふっと息を吹きかけると、なんと少女の像がとも子の前に舞い降りてきて…。



8/6(水)

● 13時開場 13時半開演 被爆体験を語る お話・三松 保則さん (埼玉県原爆被害者協議会会長)

6歳の夏、広島爆心地から1kmの距離で被爆された三松保則さんのお話を伺います。

当時の様子、戦後の暮らしなど貴重なお話をぜひお聞きください。



8/8(金)

● 14時半開場 15時開演 口コ企画・語り

～愛と平和を語り継ぐ
こころにふれるお話～

演出:滝沢口コ

出演:滝沢口コ、小田原美保、浅利倫映

大橋純子

戦後80年、忘れてはいけないあの日あの時のこと—これからもずっと戦後であるために。

